



News Letter

No. 25

2007年7月20日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17 403

http://www.labornet.jp.org

labor-staff@labornet.jp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

2007秋・ユニオンYes! キャンペーンを展開

## 華麗なるイメージアップに挑む

土屋トカチ

ワーキングプアや格差に関する報道が、ブームのように連日行われている。大半の報道は「かわいそうな人たちの「かわいそうな状況」を「かわいそう」に伝えることが主流で、本質を伝えることがまだまだ少ない。本質とは、これまで労働組合と無縁だった人たちが、労働組合に加入することで自分たちの権利を獲得できたということ。そして、たたかう仲間とつながる喜びを感じているということだ。

これまで、日本における労働組合のイメージは「地味」「怖い」「金ばかりとられる」「何もしない」など、口くでもないものが多かった。労働組合のネガティブキャンペーン大成功！労働組合のイメージは瀕死の状態……。そんな最悪のイメージを脱却し、華麗なるイメージアップを図る作戦が、この「ユニオンYes! キャンペーン」だ。

目玉企画である「ユニオンチューブ」は、オンデマンドで労働組合の活動報告が出来るシステム。組合員の生の声をはじめ、闘争の現場など、活動を広く正確に伝えることが可能だ。

「労働組合って、結構使える」「ユニオンってスゴイ!」と、これまで労働組合と無縁だった沢山の人々に認識してもらわなければ、労働組合は過去の遺物となって消えていくだけ。労働組合を生かすも殺すも、このキャンペーンにかかっている! そんなキャンペーンにならなければ、あしたはないジョー!

(レイバーネット運営委員・キャンペーン事務局)

### あなたが主役のキャンペーン

ユニオンYes! キャンペーンは、春から検討を重ねてきたが、いよいよ今秋具体化する。9・18キックオフ集会(なかのゼロ視聴覚ホール)を皮切りに、9・

24レイバー映画祭(なかのゼロ視聴覚ホール)、12・15レイバーフェスタ2007(東京ウィメンズプラザホール)を軸にしながら、さまざまな企画が検討されている。はたしてどんな内容になるのか? それを作るのは「だれか」でなく「あなた」だ。一人ひとりそれぞれの得意分野がある。映像・音楽・文章・デザイン・詩・行動 etc.……。それを最大限発揮してつなげれば、豊かな表現力になり、世の中に伝わるはずだ。まずは、7・25のプレ集會に集まろう。そして、イメージをだしあおう。そこからキャンペーンは始まる。(M)



### 私も応援します

雨宮処凛(作家)・大内裕和(松山大学)・鎌田慧(ルポライター)・木下武男(昭和女子大学)・後藤道夫(都留文科大学)・斎藤貴男(ジャーナリスト)・中川敬(ソウル・フラワー・ユニオン/モノノケ・サミット)・安田浩一(ジャーナリスト) 7/15現在

### <応援メッセージ>

「闘わなくては生きていけない。つながないと生きていけない。ユニオンYes! キャンペーン、全面的に支持します」(雨宮処凛)

「ここまでナメられたら闘うしかない。公正で平和な社会をみんなで築こう!」(斎藤貴男)

「いざ、貧者の逆襲! 唄の塹壕線!」(中川敬)

「労働組合運動への社会的な期待・需要がたいへん大きくなっているのを感じます。同時に、非正規や低処遇正規の状況改善をめざす各種の社会運動も、労働組合運動と連携しながら大きくなっていく必要があると思います。このキャンペーンに多くの方が参加されることを期待します」(後藤道夫)

## ユニオンYes! キャンペーン・プレ集會 いまこそ出番だ! 労働組合

とき 7月25日(水)午後6時半開演  
(6時開場)

ところ 渋谷勤労福祉会館 2F 洋室  
(JR渋谷駅10分 地図参照)

トーク~組合をつくった若者たち  
雨宮処凛(作家)ほか  
動画投稿サイト「ユニオンチューブ」  
試作映像  
レイバー映画祭作品紹介  
みんなで選ぼうキャッチコピー

参加費 500円  
(賛同人無料)  
主催  
ユニオンYes! キャン  
ペーン

(連絡先)  
レイバーネット日本  
TEL 03-3530-8590



## 続々寄せられるキャッチコピー～あなたならどれ？

キャンペーンで一番大事なキャッチコピー。現在一般募集をすすめている。以下、7/14現在到着のものを紹介する。

ユニオンがあれば、変えられる  
入ろうユニオン、止めよう労働者いじめ  
つくろう、入ろう労働組合、みんなで働く権利を主張しよう  
組合あればなんとかなる  
会社はいつとき 組合は一生  
組合あれば怖いものなし  
鬼に金棒 労働組合  
鬼に金棒 労働者に組合  
たおやかにしなやかな連帯 団結の核は組合  
一人じゃない! UNION-YES CAMPAIGN  
変えられる! UNION-YES CAMPAIGN  
組合があれば大丈夫  
社畜、官畜の自由にNO! 人らしく生きる自由にYES!  
たたかおう今 きりひらこう未来を 力合わせようユニオン!  
助けて! 誰か。OK ユニオン  
やられてたまるか、ユニオンで闘おう!  
不安定には、ユニオンを一服!  
「弱者」の武器がユニオンだ!  
バラバラで無力にされていた仲間たちユニオンに集まれ!  
ユニオンは、生き残るための道具! ユニオンイエス・キャンペーン  
社長と対等に話すためには、ユニオンに入るしかない! ユニオン・イエス!  
知らなかった? ええ道具でっせ、ユニオン!  
落とすのは涙では無く、生きるための汗  
労働者のボイ捨てはやめましょう  
泣き寝入りはごめんだ! 組合入ってきちんと解決  
ユニオンの男はカッコいい。ユニオンの女はもっとカッコいい。  
友達になれなくても、仲間にはなれる。ユニオン Yes!



ワーキングプアよ手をつなごう。金持ちから奪い返すために。憎たらしくても手をつなごう。権力者への嫌がらせのために。クミアイがあれば、どうにかなる。ともかく相談 まず相談～クミアイはあなたの味方だよ  
きっとイイコト、あるはずだ～クミアイはアナタの味方です  
ユニオン・イエス 私たちはきっと出会う  
1人だけど、多数なんだ ユニオン・イエス  
変えないと生きていけない 貧困と闘う ユニオンイエス  
社会が強いる孤立から自分が選ぶ共闘に  
ユニオンで変わる意識と働きかた  
ユニオンで変身! あなたと私の人生観  
ユニオンの扉がひらく別世界  
ユニオンで渡る世間に鬼は無し  
ユニオンがつなぐ心と明日の夢  
ユニオン・YES! パワハラ・NO!  
声を上げること、手をつなぐことで世界は変えられる。ユニオンYES!  
生きるとは、闘うこと、仲間とともに歩むこと。ユニオンYES!  
大丈夫! ユニオンがあるから。仲間がいるから。ユニオンYES!

### 「組合があれば大丈夫」 - このキャッチを考えた理由

小松 玲子

ポスターイメージは、職場でいじめられている人のイラスト・セクハライラスト・妊娠女性を前に自主退職を迫る上司・給与がもらえない...などの数点のイラストがあり、その真ん中に「組合があれば大丈夫」というコピーがあるようなイメージです。その下に小さく、「こんなの、おかしい!」と思ったらまず相談。非正規雇用者でも個人でも組合に入れます。」とサイドコピー。

「ユニオン」といっても、あまりピンとこないと思います(ユニオンというユニオンジャックとか別のことを連想してしまいがち)。それにちゃんと組合という美しい日本語があるのだから、日本語というほうがいいと思います。「連帯」とか「団結」はダサイ左翼みtainなイメージがあるので一般向けにはあ

まりよくないと思います。あと入会しようものなら政治活動しないといけないような印象もあります。

またこんなにおかしなことが多くても暴動もおきない日本の現状をかんがみると「闘う」という単語もあまり心に響かない言葉かと思ひます。しかし不当な行為に傷つき、生活の不安を抱えている人は多いですから、あなたは一人ではない・ともかく相談してみよう・自己責任ではない、等々のメッセージを送ることは重要と思ひます。

あと正社員でない権利がないと思ひている人はまだ多いです。非正規だから仕方ないと思ひている人はいまだ多い。だからそうじゃないよというメッセージも入れてあげたい気がします。本当に組合を必要としているのはコノヘンですから。

## だれでもできる「ユニオンチューブ」

松原 明

YouTube (ユーチューブ・http://jp.youtube.com)ってご存知ですか? 米国の動画投稿サイトで、だれでも動画をアップでき、だれでも見られるサイトです。私もここに動画をアップして、レイバーネット・トップページからリンクを貼るという形で映像提供をしています。最近では、イラク駐留のアメリカ兵士がユーチューブに戦場の様子を流したことが問題になりました。それだけ手軽にアップできるのです。

さて、ユニオンYes! キャンペーンで、世の中に訴える方法として考えたのが、ユーチューブをモデルにした動画投稿システムです。映像とネットを結合した形で使うことで、全国そして世界の多くの人に伝える可能性が一挙に広がります。

ユーチューブを使う手もあります。でもやはり資本に支配されない「自前の動画サイト」を構築しよう、ということになりました。名前はパクリで「ユニオンチューブ」(仮称)。これは、将来の「レイバー

TV局」にもつながるはず。そして、そこでまずやりたいのが、最近組合に入った若者100人のインタビューです。「組合に入ってどうだったか」という生の声を、流したいと思います。もちろん、闘争現場からのレポートも可能です。

動画というとプロがやるものと思っている人が多いですが、実際には、文章を書くよりビデオを撮るほうが簡単かもしれません。問題は編集です。これは確かに、少しむずかしい。でも、私たちが、ユニオンチューブで考えているのは、「編集なし」の方法です。約30秒間のインタビューをそのまま撮って、そのままアップするという形です。せいぜいNGをカットする程度。これならだれでも出来ます。ユーチューブがこれだけ流行ったのも、プロの映像にはない、アマの面白い素朴な珍しい動画がたくさんアップされているからです。

9月から本格稼働するユニオンチューブ。みんなでつくっていきましょう。

### 情報交換のパイプづくり～香港で国際会議

安田 幸弘

5/18-5/20まで、香港で開かれたATNC Monitor Networkのラウンドテーブル会議にLaborNet Japanのメンバーとして参加してきました。この会議は、アジアの多国籍企業で発生する労働問題について、効果的なキャンペーンを行うための戦略を共有することが主な目的で、日本のほかには香港・台湾・韓国・フィリピン・インドネシア・スリランカ・タイなどの労働組合やNGOから60人程度の参加者がありました。

内容的にはいまひとつ、国際的なキャンペーンの具体的な方向を打ち出すというところまで踏み込めず、その周辺をうろろろしていたように思います。

### レイバーネット“from Japan”英語ページを再開

2年前から休止していた英語ページ“From Japan”を7月後半から再開します。ボランティア翻訳者が決まったからです。とりあえずトップページの短記事の翻訳から始めます。

トヨタやキャノンなど日本の多国籍企業が海外でひどい搾取と弾圧をしている中で、日本の労働者は

具体的に決まったのはメーリングリストでキャンペーンを呼び掛ける、ということぐらいです。Webサイトの活用という話も出ましたが、技術的な問題で先送りになりました。

しかし、参加者は各国内の進歩的な労働運動に関わるメンバーなので、今後の情報交換のパイプ作りができたという点が最大の成果でしょうか。ちなみに、例によって例のごとく、あちこちから「レイバーネット日本には英文ページはあるか」「日本の情報がなくて困っている」と言われました。英語ページを作らなければいけない、という宿題を抱えて帰国しました。

闘っていないのか、という疑問が世界中でもたれています。日本の労働者の現状と闘いを英語で紹介し、国際的な連帯を強めるために“From Japan”を発展させていきたい。このページの宣伝と翻訳ボランティアを募集します。 国際部・高幣真公

### 「デモクラシー・ナウ!」日本語版がスタート

アメリカでたいへん評価の高い独立系報道番組に「デモクラシー・ナウ!」があります。戦争や環境問題、マイノリティ、グローバル化などに一貫して注目した1時間番組で、平日は毎日制作され、パブリック・アクセスなどを中心に、世界約500局のラジオ・TV局で放送されています。

英語放送はインターネットでも視聴できるため、日本にも隠れたファンはいましたが、より広く視聴しやすくするために、このたび日本語サイトを立ち上げました。毎日の番組の概要をテキストで、お薦めのインタビュー映像を日本語字幕入りで、それぞれ紹介しています。キャスターのエイミー・グッドマンは、東ティモールの虐殺の際に、海外からたっ

た2社取材に成功して東ティモール問題の深刻さを初めて世界に知らせたジャーナリストの1人。米国の高校・大学のメディア論の授業で「デモクラシー・ナウ!」がかなり頻りに使われるところからも、独立メディアとしての質の高さが伺え、これを日本に広めることの喜びと責任を感じています。

日本語版は4月に始まったばかりで、まだまだ駆け出しのプロジェクトですが、ぜひメルマガに登録して(無料)いろいろとご意見をお寄せください。http://democracynow.jp(会員も募集しております TEL:090-9847-4065)\*なおこのプロジェクトは、レイバーネット会員の協力で実現しました。

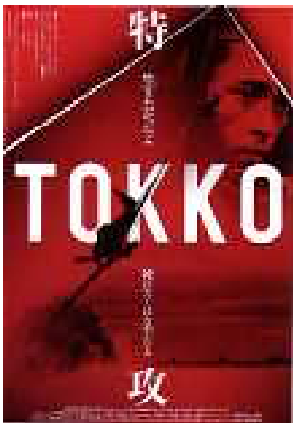
古山 葉子



# インフォメーション

## 戦争を考えさせる2本のドキュメンタリー映画

映画「TOKKO 特攻」は、日系アメリカ人女性監督が元特攻隊員の生存者へ取材を重ね、本音を引き出している。広い視野から戦争をとらえ、特攻隊を生みだした日本軍の体質に迫った傑作だ。7/21より東京・渋谷シネラセットで公開。またスティーヴン・オカザキ監督の「ヒロシマナガサキ」は、久間前防衛大臣に見てほしい作品。25年の歳月をかけて完成させた渾身のドキュメンタリーで、被爆者の想像を絶する苦悩を描き出している。7/28より岩波ホールで。2つとも、若い世代に「戦争」を伝える秀逸の作品である。



## 「過労死をなくそう！龍基金」第1回中島賞授賞式

「龍基金」は、04年8月に「すかいらーく」で過労死した中島富雄さんの事件をきっかけに設立された。中島賞は「龍基金」の事業で、過労死の根絶や労働者の地位向上に貢献した団体・個人を毎年表彰する。その記念すべき第1回授賞式が、8月4日17時～すみだ産業会館（錦糸町駅）で行われる。佐高信氏が記念講演、詳細は「龍基金」(03-3604-1294)へ。

## 「もうガマンできない！広がる貧困」が発刊される

反貧困ネットの運動の中から、単行本「もうガマンできない！広がる貧困」が発刊された。3月24日の反貧困集会の内容などを収録。非正規労働者・シングルマザー・障害者・高齢者・多重債務者・在留外国人など当事者の声、また湯浅誠・雨宮処凛・河添誠等の論者が現状分析と解決への展望を語る。深まる貧困の実態、それに対して、たたかうネットワークをどうつくっていくか。示唆に富む内容だ。明石書店刊・1365円。

## フランス記録映画「移民の記憶」がDVDになる

フランス在住マグレブ移民のルーツをたどる映画「移民の記憶」は、1997年にフランスで公開され、大きな反響を呼んだ。戦後復興を支える安価な労働力

として旧植民地アルジェリアから動員され、底辺労働に従事させられた移住労働者たちの歴史は、現在のフランス・ヨーロッパ社会の一断面を示している。今回DVD(個人4500円・団体7500円)として発売されることになった。発行パステル・発売ビデオプレス FAX03-3530-8578。



## サンフランシスコで「レイバーフェスト2007」

「労働者に国境はない」をスローガンに今年もサンフランシスコで「レイバーフェスト2007」が7/5～7/31の予定で開催された。レイバーフェストは、1934年のサンフランシスコ・ゼネストを記念するイベントとして1994年に始まり今年で14回目。連日、映画・音楽・詩朗読などがある。6日には「君が代不起立」英語版が上映された。日本から君が代処分を受けている教員が参加し、アメリカの教員組合と交流した。

## イラク平和テレビ局 in Japan が送信開始！

イラク占領と内戦を終わらせようとするイラク民衆のテレビ放送「サナテレビ」の日本版国内送信が、6月25日から始まった。現地には衛星放送が600チャンネルあるが、全てが体制寄りのTV局で、IFC(イラク自由会議)が放送するサナ(光)テレビは、民衆のメディアとして貴重なもの。日本版は、そのメッセージを日本に広げるため、番組を翻訳・配信する。当面は、毎週1回・10～15分程度の有料番組を配信。会員登録を呼びかけている。 <http://peacetv.jp/>

## 全国青年大集会2007の報告集

「まともに生活できる仕事を！人間らしく生きたい！」をスローガンに3300人が集まった5月20日・明治公園の全国青年大集会。その内容を伝える報告集が発行された。1冊150円。分科会の様子、本集会での発言や5月20日時点でのネットカフェ利用者資料などが掲載されている。ご入用の方は、首都圏青年ユニオンまで必要冊数を明記し、メールにてご注文下さい。 [union@seinen-u.org](mailto:union@seinen-u.org)

今号掲載のマンガは会員の一花花さん作です。  
一花花サイト <http://18787.nai.n.jp/>

## レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。  
年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本  
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403  
レイバーネット日本事務局  
入会申込用アドレス [apply@labornet.jp](mailto:apply@labornet.jp)  
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578